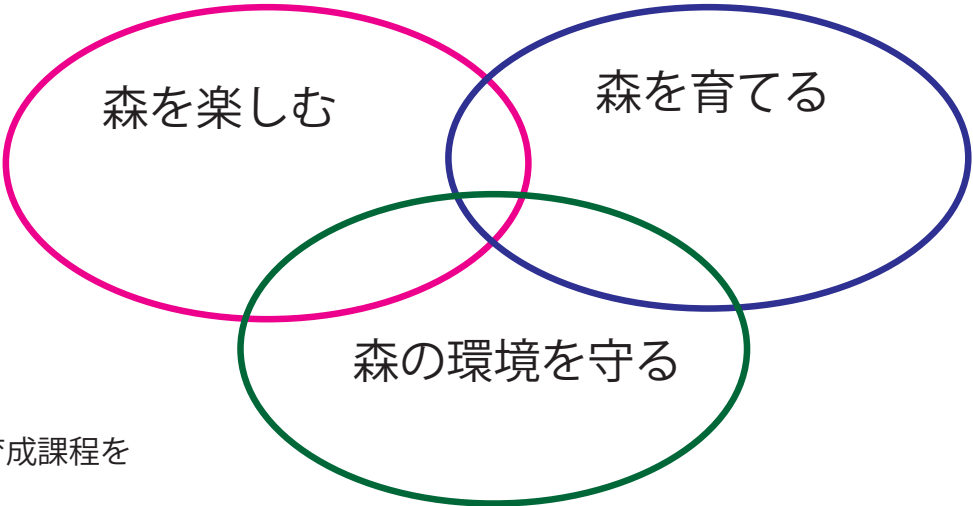


森の家 森を育て森を楽しむセカンドハウス

現代人は、本当の人間の暮らしを失っている。
森の生活は、人間性を取り戻す本当の生活が送れる。
森の生活は自然の中にいて、できるだけ人間社会の経済性とか利便性といったものとは反対側にある生活である
少しでも森の生活に近づくために都会人には、森の家が必要
森の機能を考えて、機能を守り、森を生かしかつ森の息吹を感じられる家
森の木を適切に配置し、森の中の亜高木層に位置し、森の環境を守りつつ、森の中に暮らす家を作る。
里山はそのままにすると荒れてしまう。
里山を整備しつつ森の成長とともに、いろいろな森が見えるとともに
最後は森と一体化する。
森の環境を守りつつ森のシステムに従った建築物。

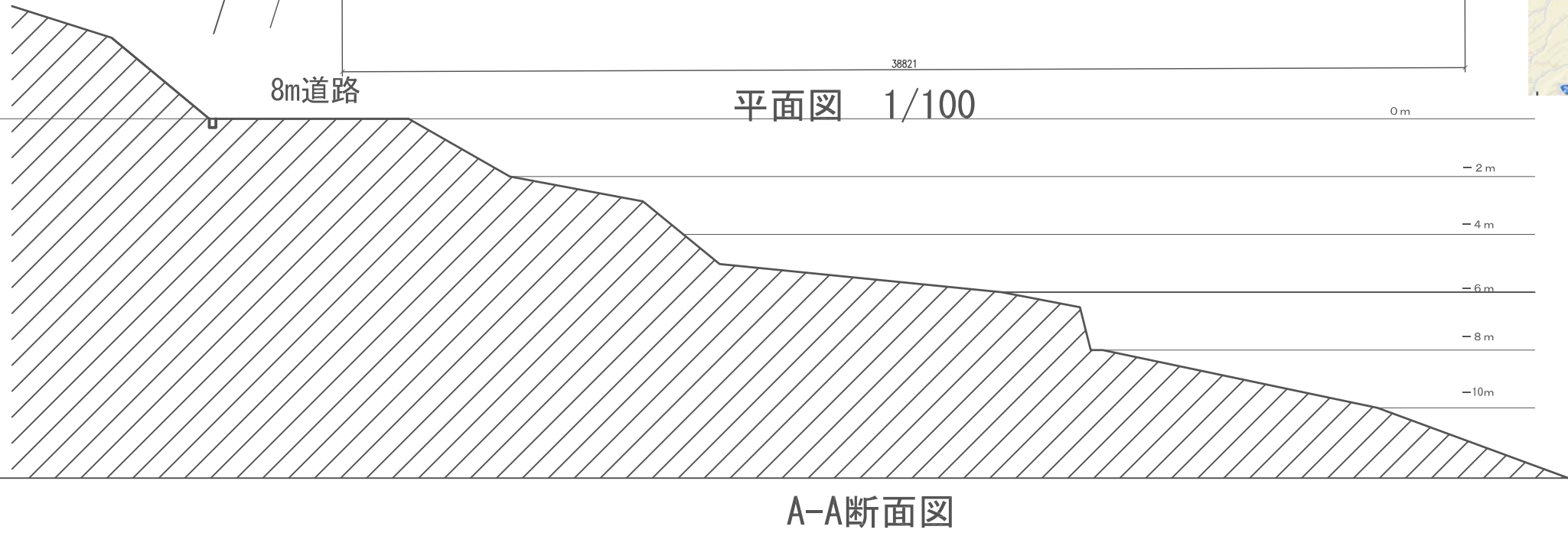


森を楽しむ 森の中に入り、森の視点で

森を育てる 森を最適育成環境を考える。森の育成課程を

森の環境を守る 森のダム効果や風や水の流れを極力阻害しない。自然のエネルギーを活用。





森の家 敷地

そんなに田舎ではない。都会から、2〜3時間で週末にいける。
インフラが、そこそこ整っている。
(水道・電気、病院、スーパー、ゴルフ・・・)
森の中で、山々が見える。
里山の南斜面で未整備。

選定敷地

- ・長野県佐久市新幹線佐久平駅から車で15分
- ・森の斜面 南向き斜面
- ・敷地面積 914.42㎡ (276.61坪)

法規制

- ・用途地区 無指定
- ・道路 北側 8 m 接道
- ・建ぺい率 60%
- ・容積率 100%

位置図



森の家 建物の特徴

暮らす人：

1名＋時々3名

会社をリタイアした人が

通常は都会に住んでいるが

森の雰囲気求めて

セカンドハウスとして

使用する家

建築面積：

2F 50.38 m²

1F 45.36 m²

計 95.74 m²

建物の構成：

2層にして、森に与える影響を最低限に

上層：パブリック スペース

下層：プライベート スペース

森の家に入るエントランスを中間階に

二階の構成：

パブリックスペースのエントランス、

リビング、ダイニング・キッチンを集約

真ん中の森を感じるデッキを含め、

大きなパブリックスペースを構成



建物配置図



建物の構成



2F 平面図



斜面配置図



エントランス



1F 平面図

建物の配置：

斜面を利用した、森と一体化した優しい建物

南向きの大きな窓で自然を謳歌する

真ん中に風の通り道

森を囲むデザイン

外部から隔離する外観

セキュリティに配慮した高床構造

森へのおもてなし：

森への期待を感じる門のような外観

その中に入る空中にかかるエントランスゾーン

緑のおむかえ

入ったときに、広がる視野と森の姿

一階の構成：

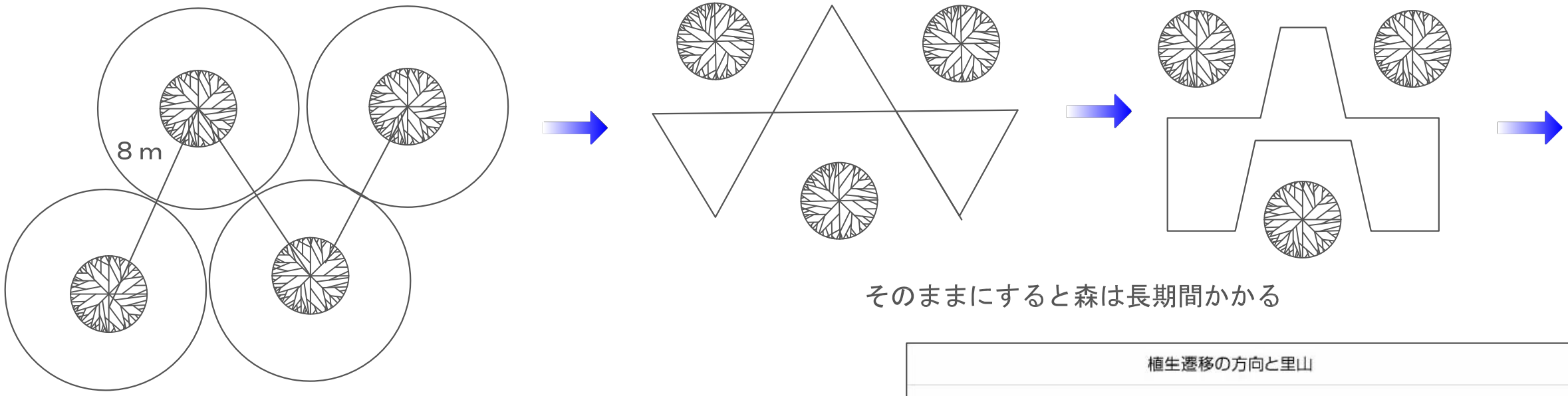
プライベートスペースを1階に集約

寝室や和室に隣接したユーティリティスペース

森をすぐそこに感じられる大きな窓の浴室

森を育てるデザイン

ブナを代表とする広葉樹の森の木は、50㎡に一本が最適配置。

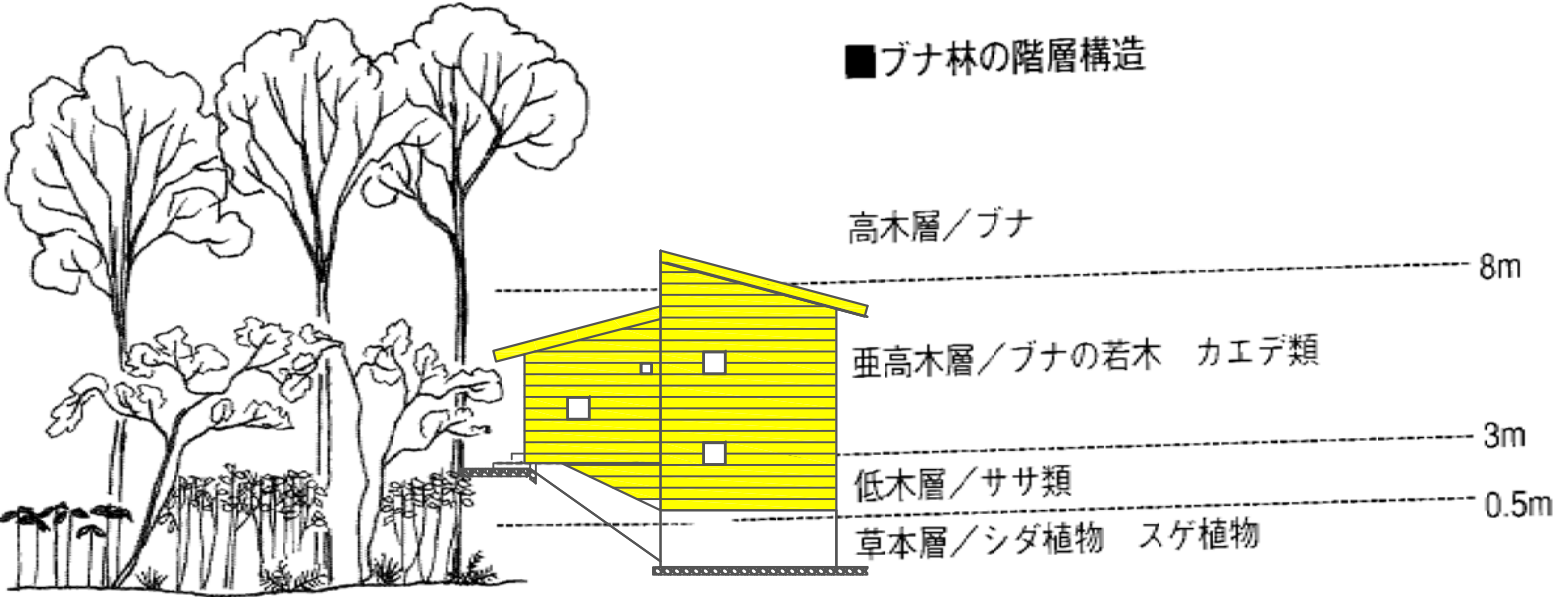


森を育てるブナの木配置



適切に間伐しないと森は育たない。

森の亜高木層に建物を配置し、森への影響を少なく

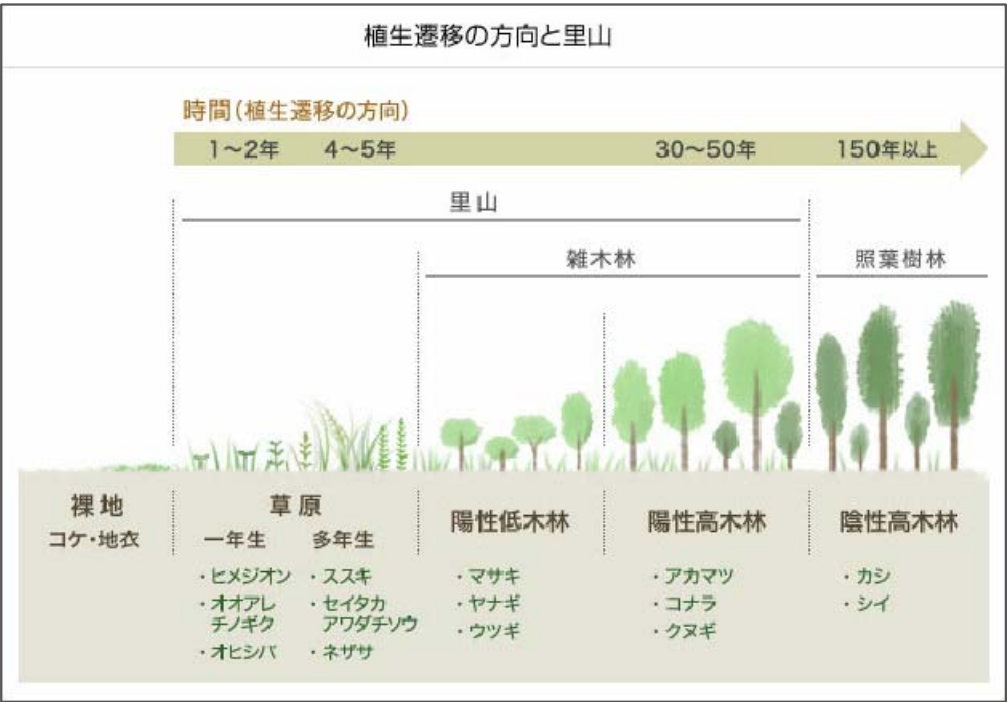


■ブナ林の階層構造

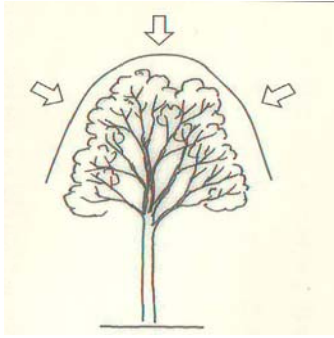
二階建てにして平面的な影響を少なく



そのままにすると森は長期間かかる



光を享受するデザイン



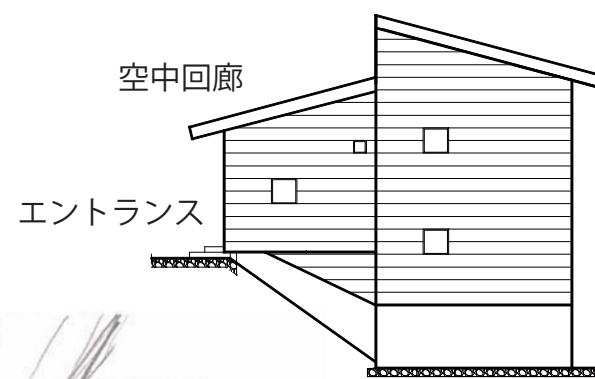
建物を光を受けるデザインに森の形を重視する。

森を楽しむデザイン

■森へ招くエントランス



森へのゲートを感じる対称形の外観



エントランスから森を望む

■いろいろな視点の森を感じる



■森の木を取り巻く、部屋配置



外部からは、隠されていて孤独を楽しむ



■森を感じるリビング



■木漏れ日の朝日で目覚める寝室



■森の中の憩い - 森に面した浴室

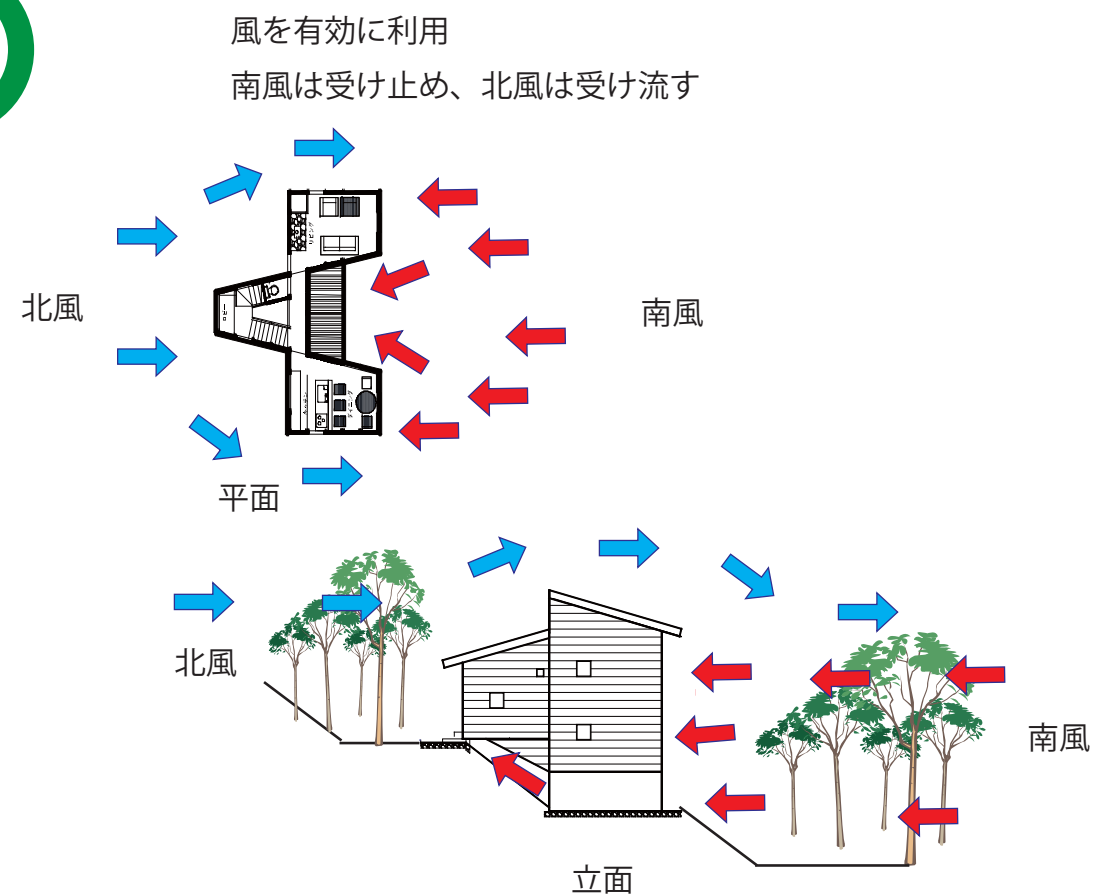
■二面の窓から望む森の姿



ダイニングより森を望む
森を身近に感じる窓配置

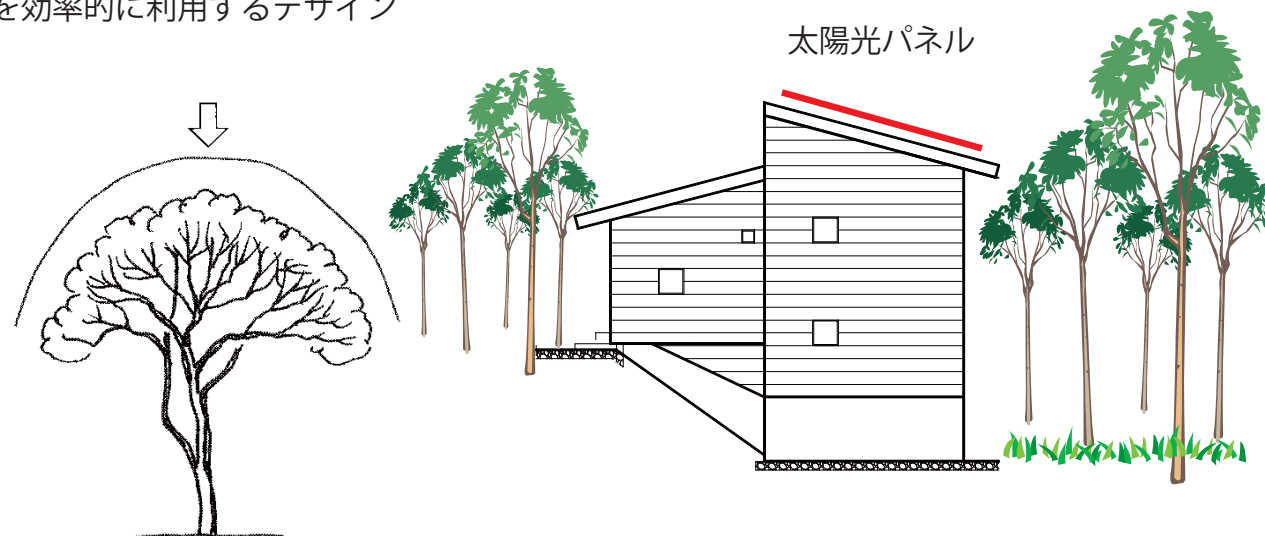
森の環境を守る / 自然のエネルギーを有効利用

風

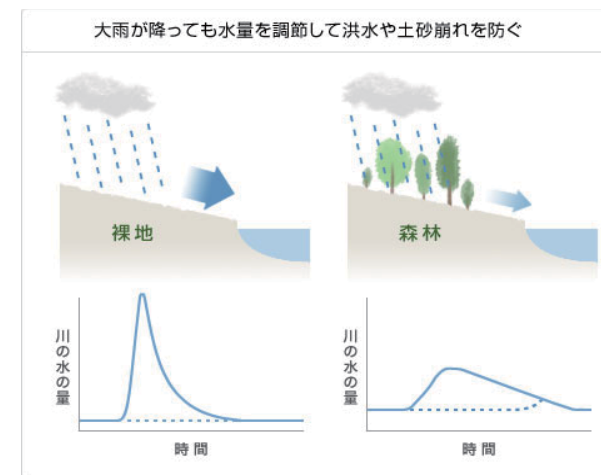


光

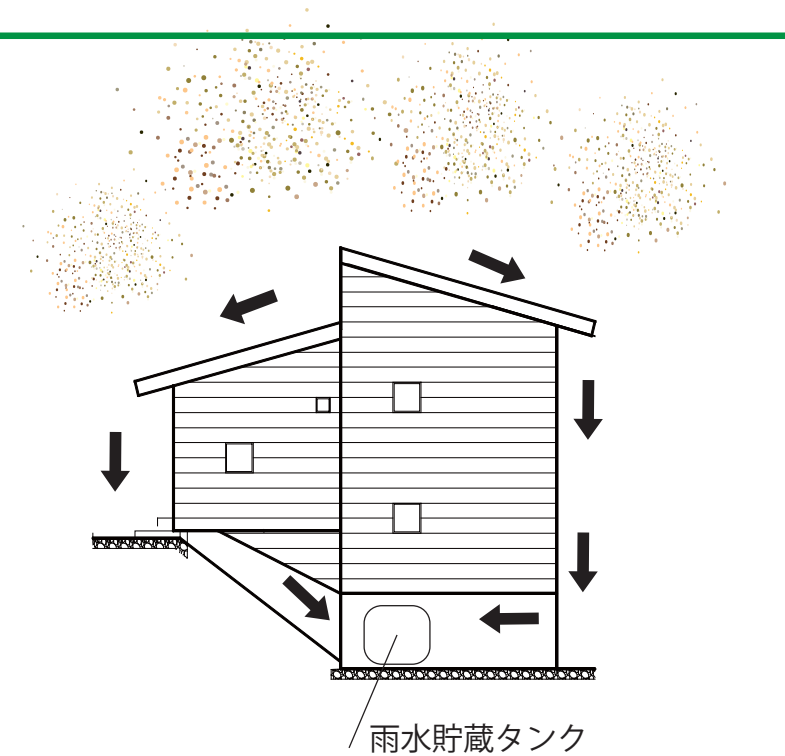
光を効率的に利用するデザイン



水



森のダム効果



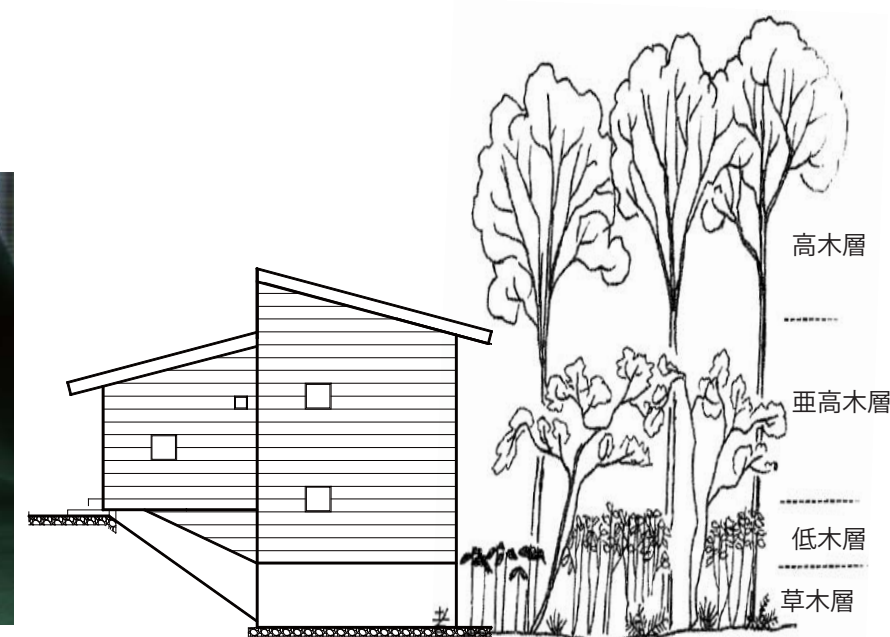
貯留した雨水は森の灌水と非常時の水源として使用

土

森に与える影響を最小限にする

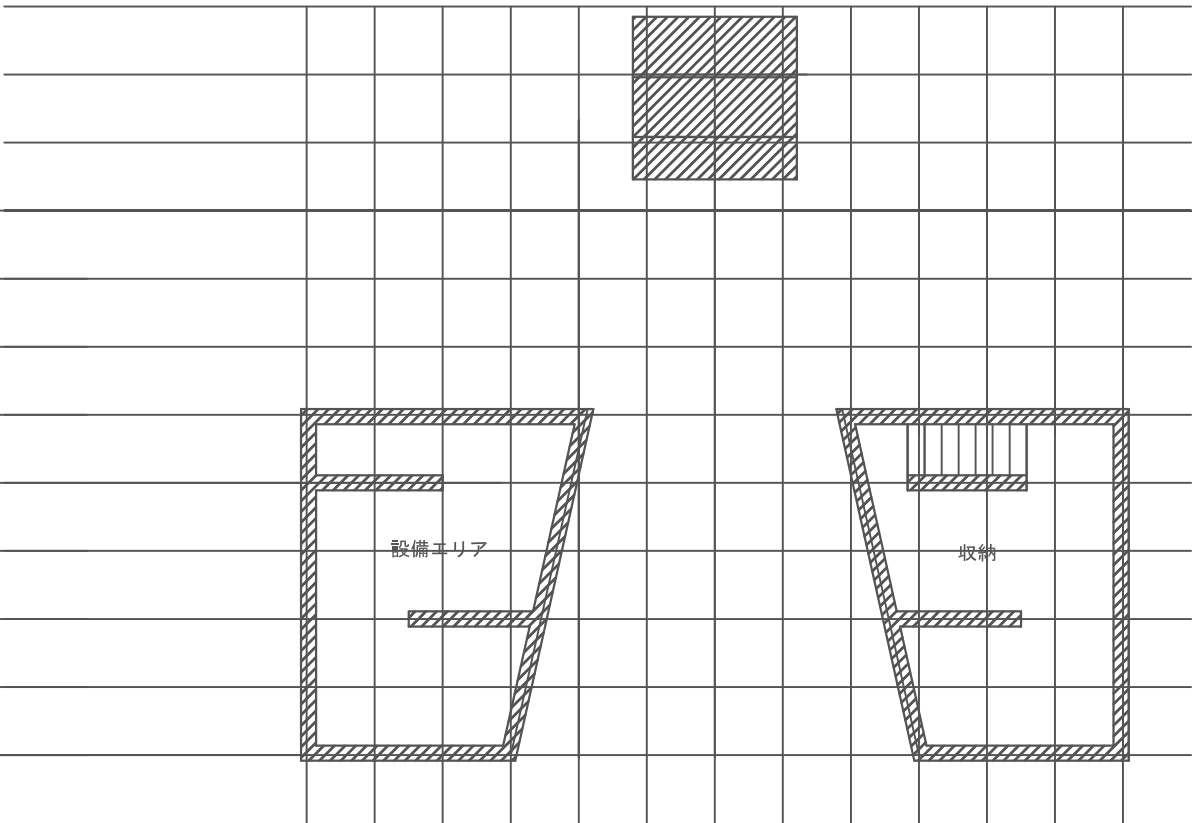
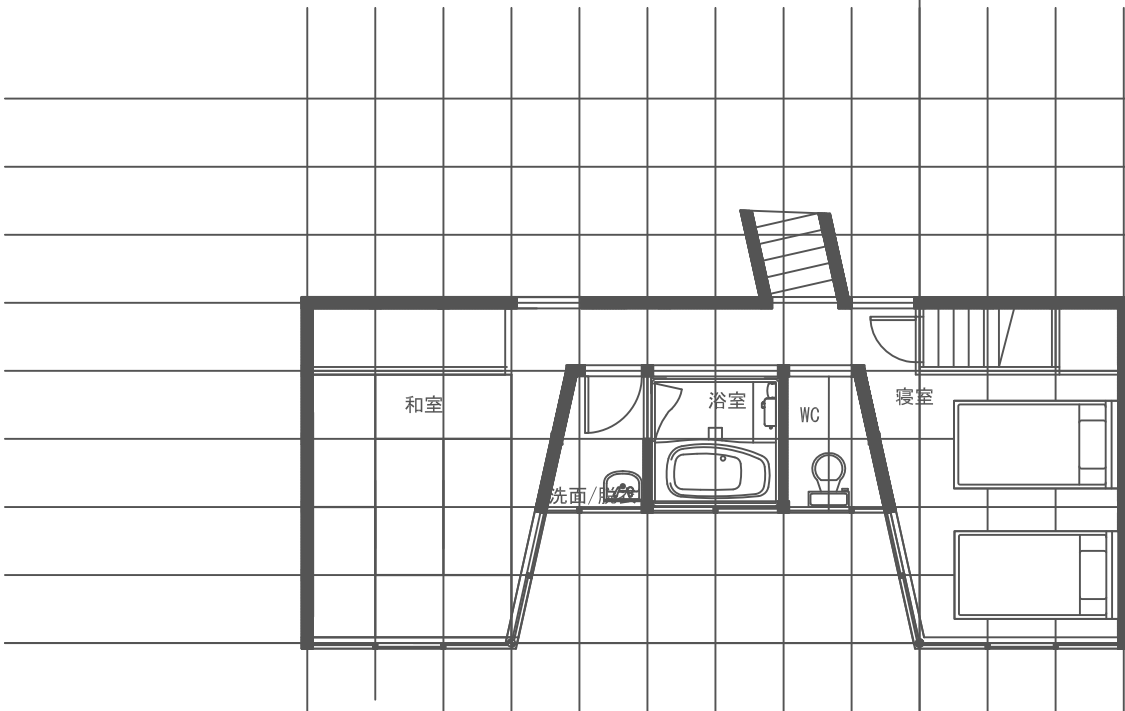
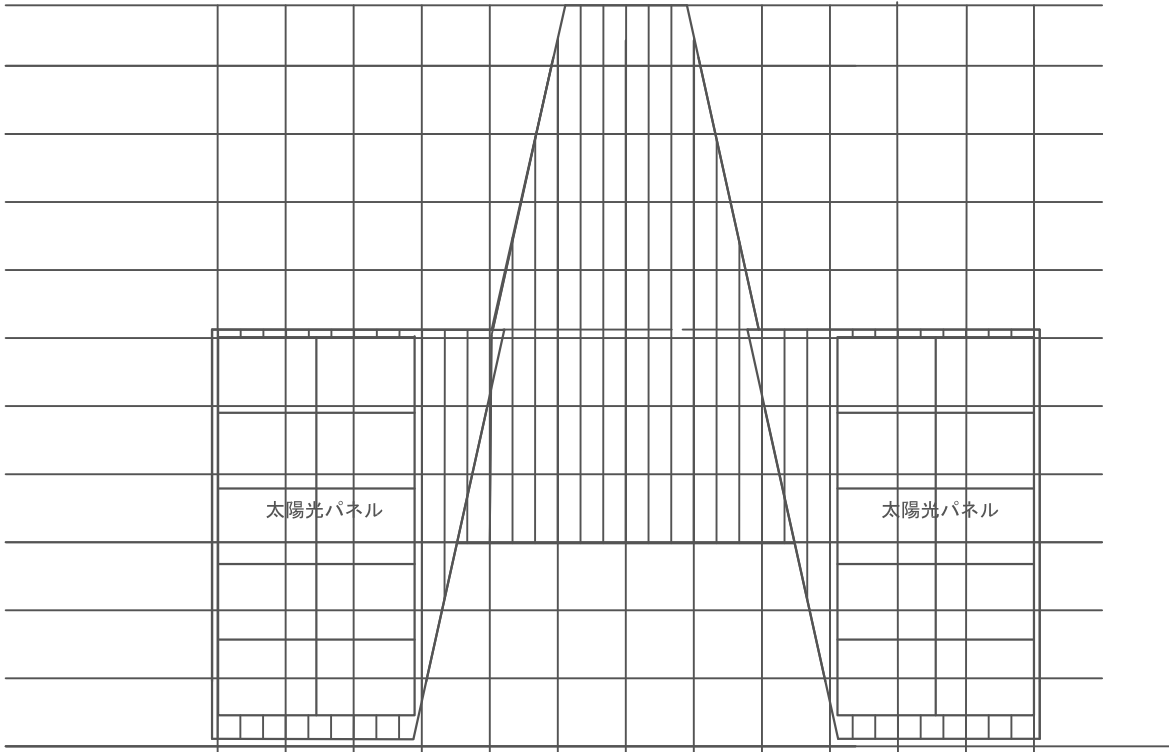
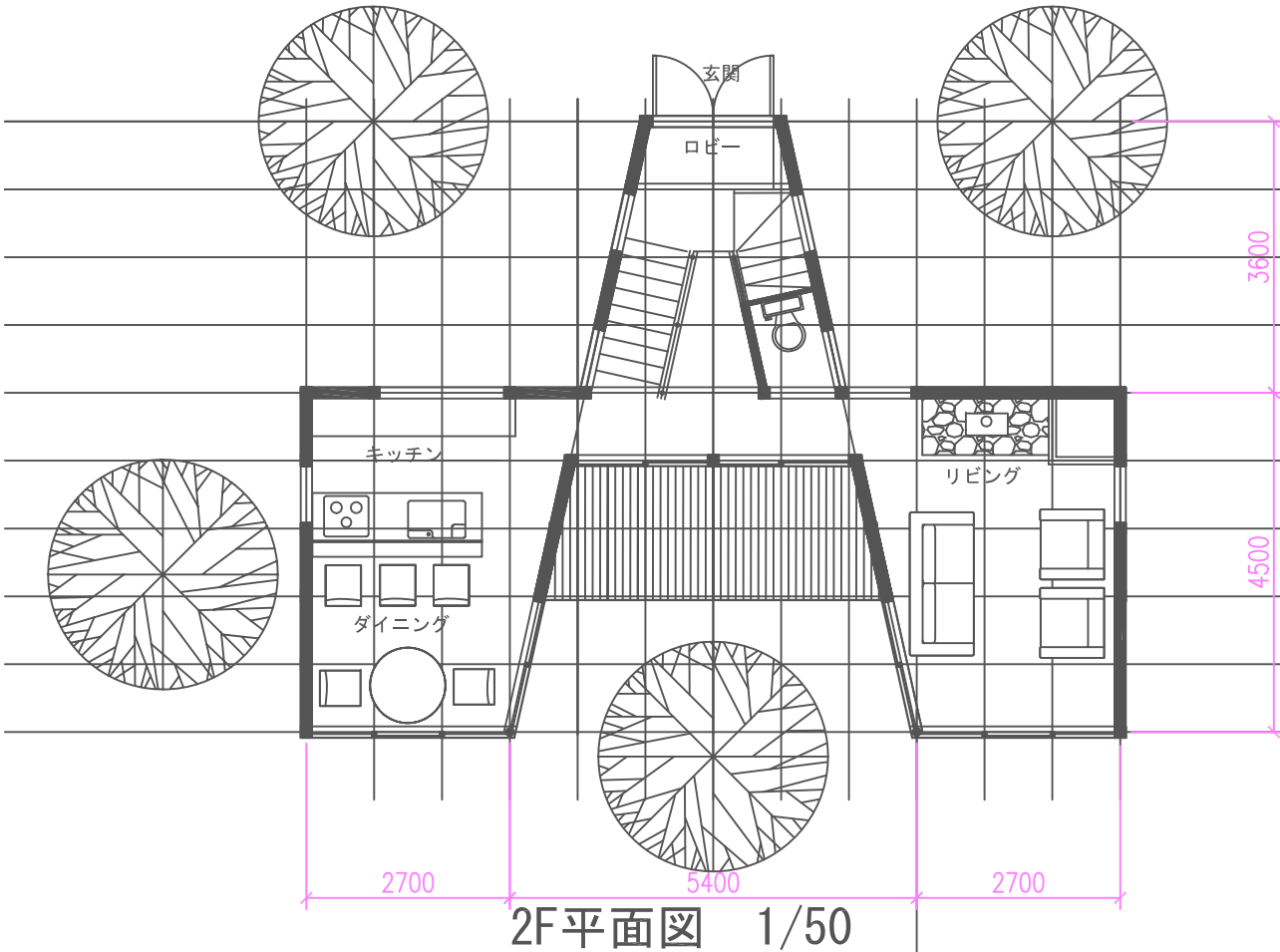


森への影響を少なくする基礎配置
最小限の基礎部は収納や設備エリアとして利用
真ん中に水と風の通り道

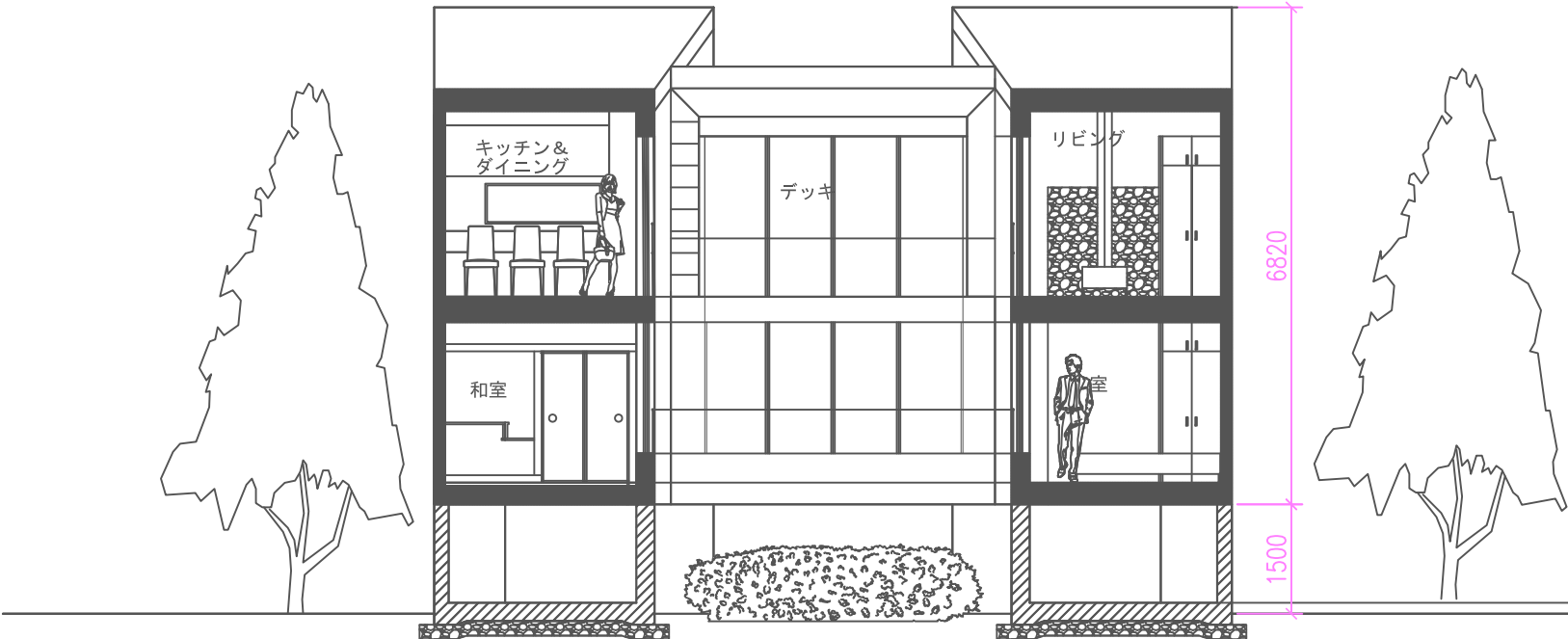


主要部を亜高木層、低木層に配置すること
により、森の育成に最小限の影響に
かつ、セキュリティに配慮

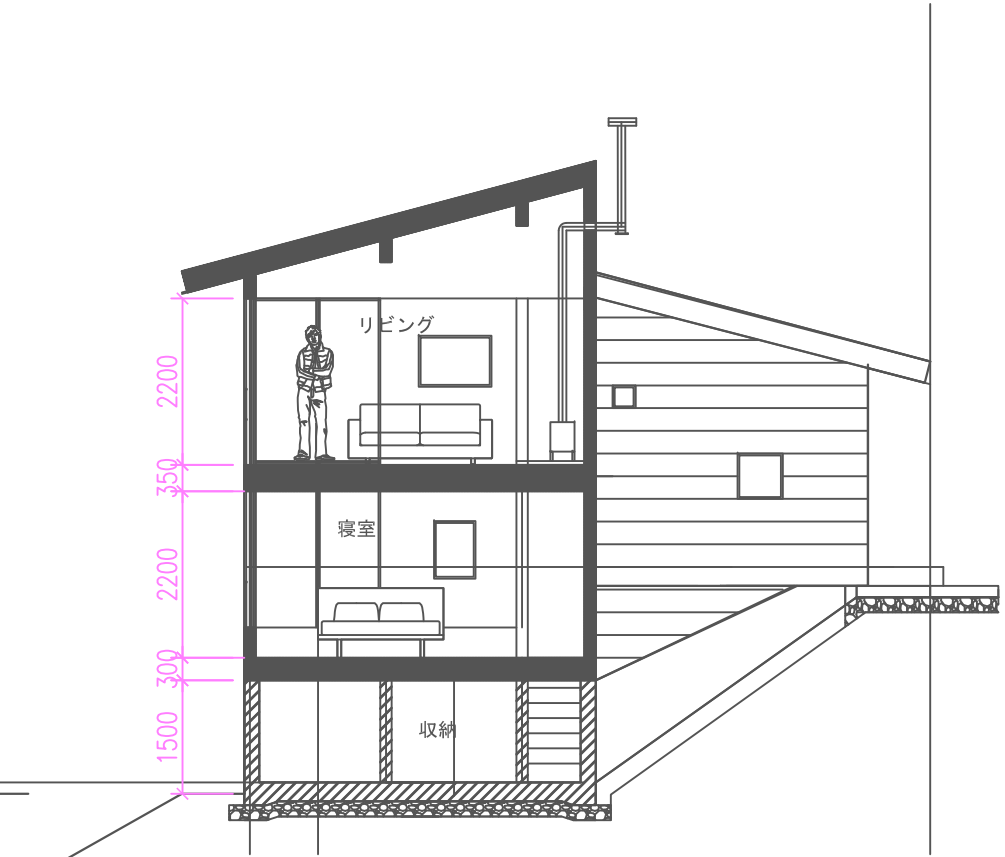
森の家 平面図 1/50



森の家 断面図 1/50



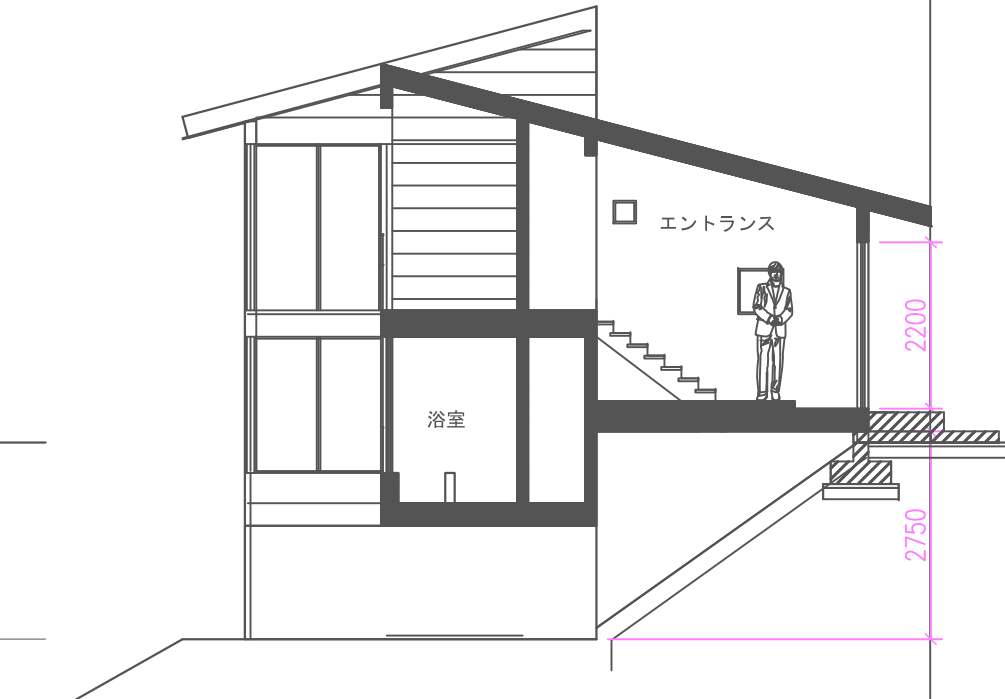
断面図1 1/50



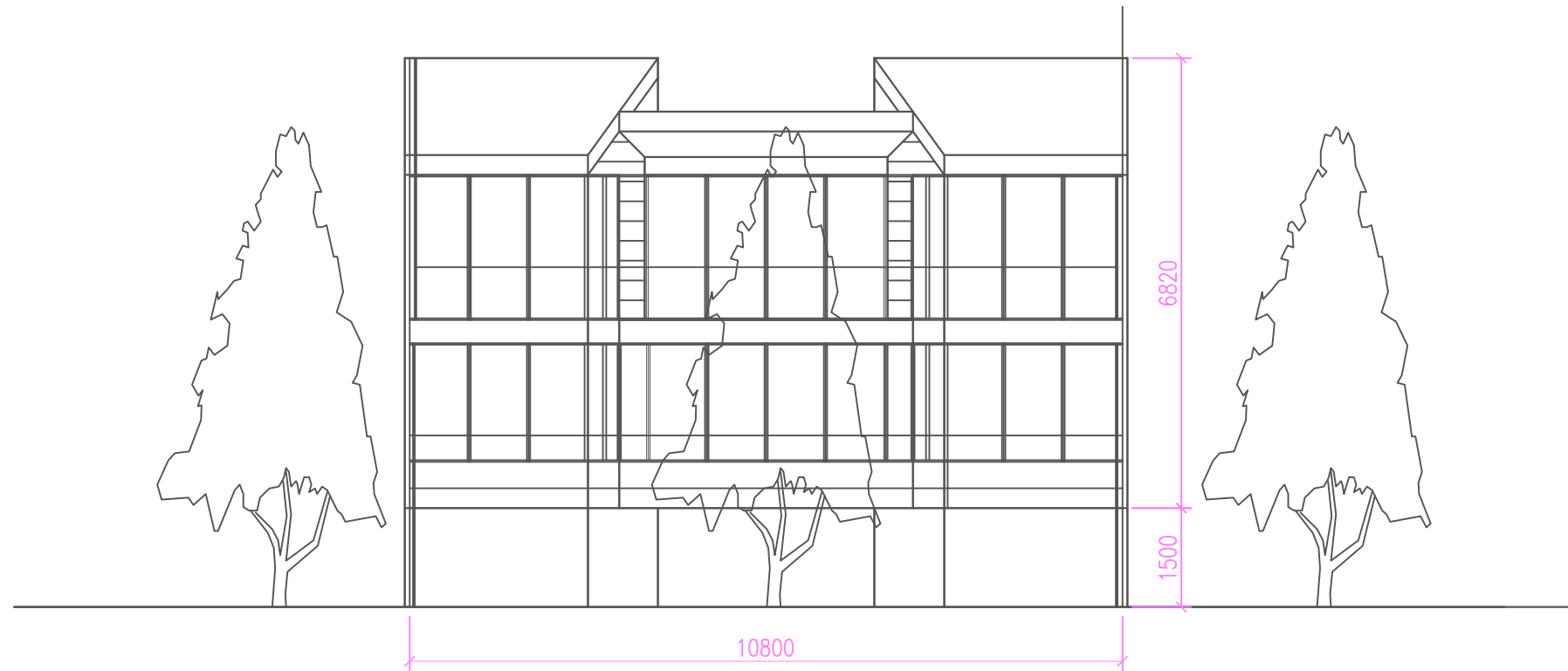
断面図3 1/50



断面図2 1/50



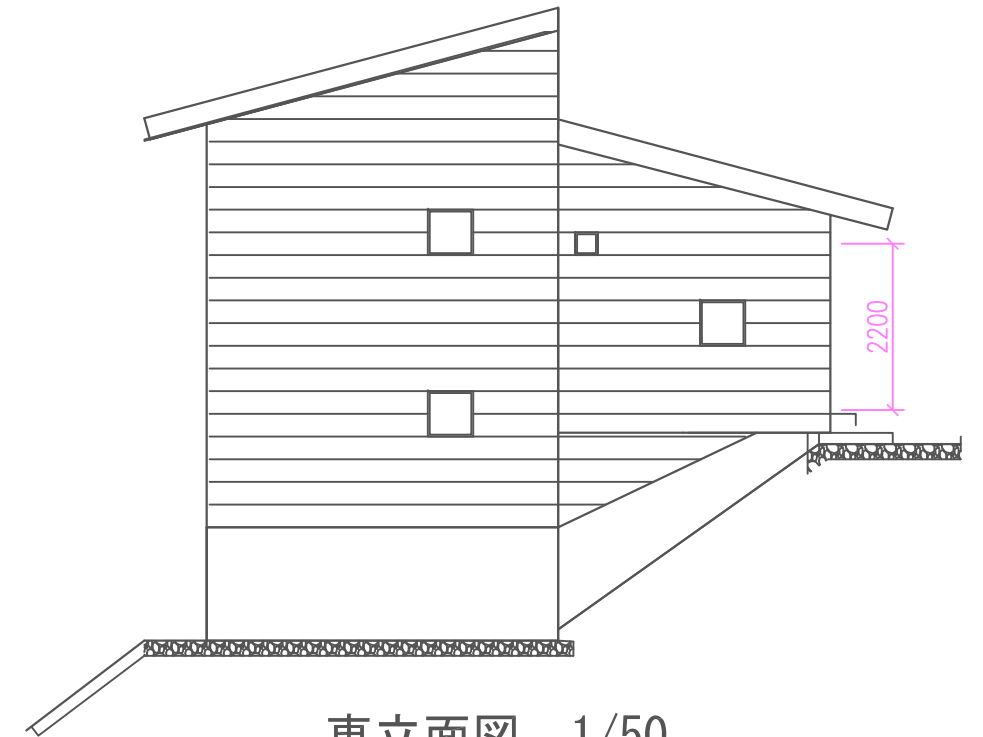
断面図4 1/50



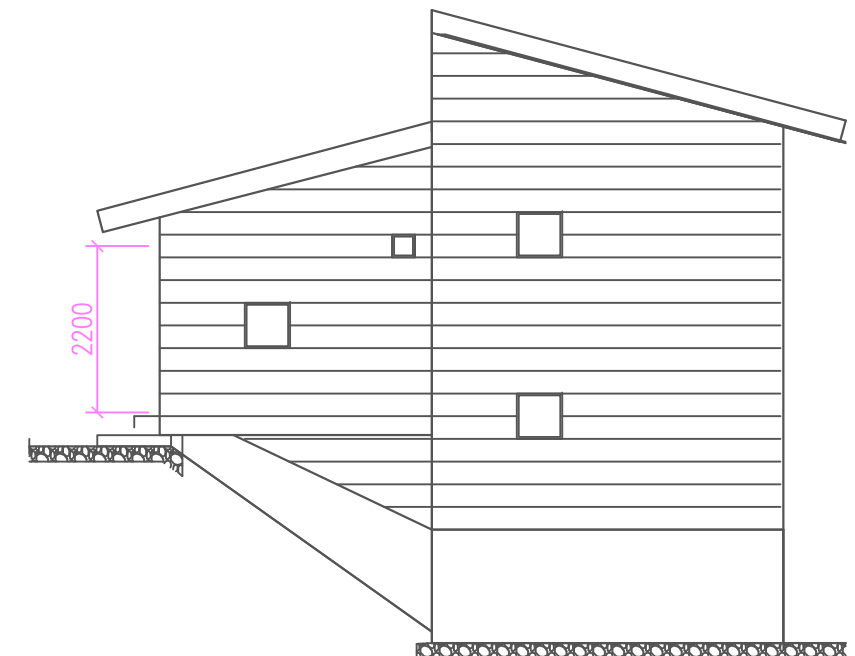
南立面図 1/50



北立面図 1/50



東立面図 1/50



西立面図 1/50

